



みんながチャレンジ 明日に向かって 本気でGO!

本郷の輝き

横浜市立本郷小学校
学校学年便り11月号
令和5年11月30日

横浜市栄区中野町16-1 電話 891-6813

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongo/>



星を見つめながら

副校長 武士 雅子

気が付けばあと少しで12月、今年も残り約1ヶ月となりました。12月は「師走」と言いますが、諸説あるものの、その由来は普段ゆったりとした動作のお坊さんさえも、12月になるとお経をあげるために東西を馳せる月「師馳す(しはす)」からきているとも言われています。年末が近づきだすと、子どもたちも、本郷小学校での師である先生方もあちらこちらに走り回りながら、学習のまとめに忙しい日々を送っています。

11月22日に、3年生と一緒に、はまぎんこども宇宙科学館まで遠足に行ってきました。毎日が何となく気ぜわしくなる年末ですが、子どもたちとプラネタリウムでゆったりと星を観察する、少しでも贅沢なひと時を過ごすことができました。子どもたちも、「世界で一番星を投影するプラネタリウム」の星空にびっくりし、驚きの声をあげながら観察をしていました。

なにしろ世界一のプラネタリウム。さらに町の光をなくす設定状態での星空なので、目の前には数えきれない星が瞬きます。その星をつなぎながら、科学館の方が星座とその物語を語ってくれました。

そんな物語を聞きながら、昔の人は、この多すぎる星の輝きを選び、つなぎ、よく星座という物語を作り出したものだと考えていました。普段私たちが教科書などでみる星座の写真は、ある程度目立つ星だけを残したものとなっています。でも、昔の本物の星空には無数の星が瞬いており、その中から星を選び出し形にするにはかなりの想像力が必要だったと思います。

教育も同じかもしれません。大きな「全体」の中には、煌めく個性がある「部分」が隠されています。全体だけで判断するのではなく、部分もよく見ることで、新しい発見をし、想像することでそれがつながり、全体の印象をかえることがあるのだと、昔の人に敬意を感じた星空観察でした。



本郷小学校マーチングバンドの皆さんが、11月の関東大会で金賞を受賞し、その結果、12月9日の全国大会に出場することが決まりました。全国でも頑張ってください!